

第 6 期科学技術基本計画へ向けての意見（大隅典子・東北大学）2020.11.18

【博士人材・若手キャリアパス】

- 大学院進学者の約半数に生活費相当の経済支援、というポリシーは大きな前進となることが期待される。そもそも、1970 年代には、大学院に進学せずに、あるいは途中から「助手（当時）」として採用され、経済的支援を得ながら初期の研究トレーニングを積んだ研究者も多い。
- 「日本版」テニュアトラック（いちおう「定年」はある制度）の整備・普及は急務といえる。最初の契約時にテニュアを得るために必要な要件がきちんと明示され、透明性があることが重要。
- 博士課程学生や若手研究者にとって科学技術分野が魅力的であるためには、安心して子育てをしながらキャリアを積むことが可能な社会制度にすることが必要。そのためには、保育園の待機児童ゼロ化、柔軟なテレワーク体制、選択的夫婦別姓など、科学技術分野にとどまらない視座が重要。

【女性研究者活躍促進】

- 圧倒的に under-representative である女性研究者の現状を考えると、まず、女子生徒・学生の理系学部・大学院進学促進策が重要（例：東北大学サイエンス・エンジェル制度）
- キャリアパスの過程で leaky pipeline が生じるのは、博士研究員→助教、助教→上位職の段階であり、上記の若手研究者への支援、本人の self confidence 向上とともに、周囲の unconscious bias を除くことが極めて重要。とくに「女性は上位職を望んでいない」と思い込んでいる男性上位職の意識改革が必要（例：長谷川眞理子学長の朝日新聞書評：女性の壁 古い性差意識から抜け出そう 長谷川眞理子・総合研究大学院大学学長（2019.7.3））
- 女性研究者活躍促進策のためには、定点観察、分析、情報発信、助言、研究者推薦等の機能を有する韓国の WISSET のような一元化された継続的組織が必要と考えられる。

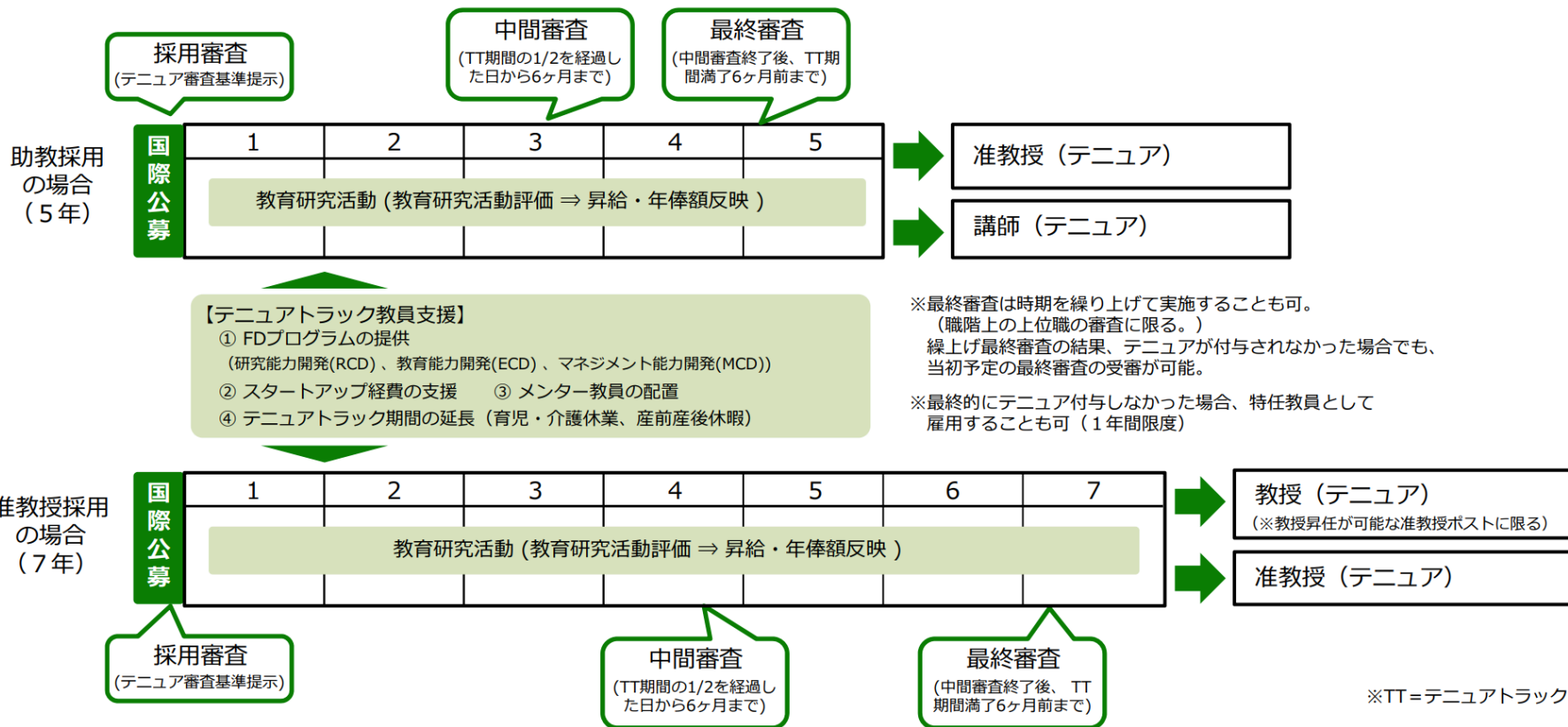
【オープンサイエンス推進における大学附属図書館の機能強化】

- Society 5.0 の実現化においてオープンサイエンスの推進が求められ、また、人文・社会科学における DX 推進の観点からも、教育・研究を支援する立場にある大学附属図書館の機能強化が必須である。大学図書館はリポジトリの普及などにより、研究成果発信に貢献を果たしてきたが、今後、どのように「知の府」としてデジタルとリアルのハイブリッドな機能を推進するのか検討が必要である。例えば、感染症にも配慮したラーニングコモンズのあり方なども。
- 先行事例の 1 つは古典籍のデジタルアーカイブ化など（例：国立文学研究資料館といくつかの大学のコラボ。東北大学からは「狩野文庫」より 232 点を国文研の「新日本古典籍総合データベース」で公開）。
- 図書リファランスを超えた種々の研究サポート業務について、スキルを持った人材登用が必要。例として、オンライン授業・学会発表に対応した発表資料におけるクレジットのチェック、著作権の啓発、ハゲタカジャーナルかどうかの判定など。

テニュアトラック制度の「透明化」の事例（広島大学）

テニュアトラック教員のキャリアパス（例）

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/employment/personnelsystem>



その他OISTなども

<https://www.oist.jp/ja/policy-library/3.2>

「無意識のバイアス」の例として

- 日本は、国会議員や会社の管理職の女性割合が、世界先進諸国と比較して異様に低い。男女の賃金格差も、世界で下から何番目という状態である。
- こんな社会であることが、今の日本の弱さなのではないか、と私は考えている。先日、ある議員たちの集まりで日本の女性管理職割合の低さを指摘したら、議員から、「でも日本女性にそんな覚悟はあるのか？」と聞かれた。こういう反論はよくある。
- そこで、女性の状況を分析した本を読んでみた。『なぜ女性管理職は少ないのか』は、日本女子大学現代女性キャリア研究所が、2017年に開催したシンポジウムをもとに、詳細なアンケートやインタビューを行った、非常に丁寧な分析だ。
- 小学校から高校までのリーダー体験に男女差はない。大学生の意識調査でも、リーダーをめざしたい志向に男女差はない。ところが、入社して2年目ぐらいから、「めざしたい」と思う女性の割合はぐっと落ちる。その原因は、多くの職場でそもそも女性には責任のある仕事を割り振らず、女性の能力を認めて昇進させようという雰囲気がないからなのだ。
- やってみて「やりがいがない」と思わせられる環境で、ずっと挑戦し続ける人は少ない。それを見て、男性の評価者が「女性自身が管理職を望まないのだ」と言うのは、根本的におかしい。

女性研究者活躍促進のための司令塔の例（韓国のWISET）



About WISET

Programs

Policy & Statistics

News & Events

Publications

Contact us

Policy & Statistics

Looking into Statistics

Support Policies →

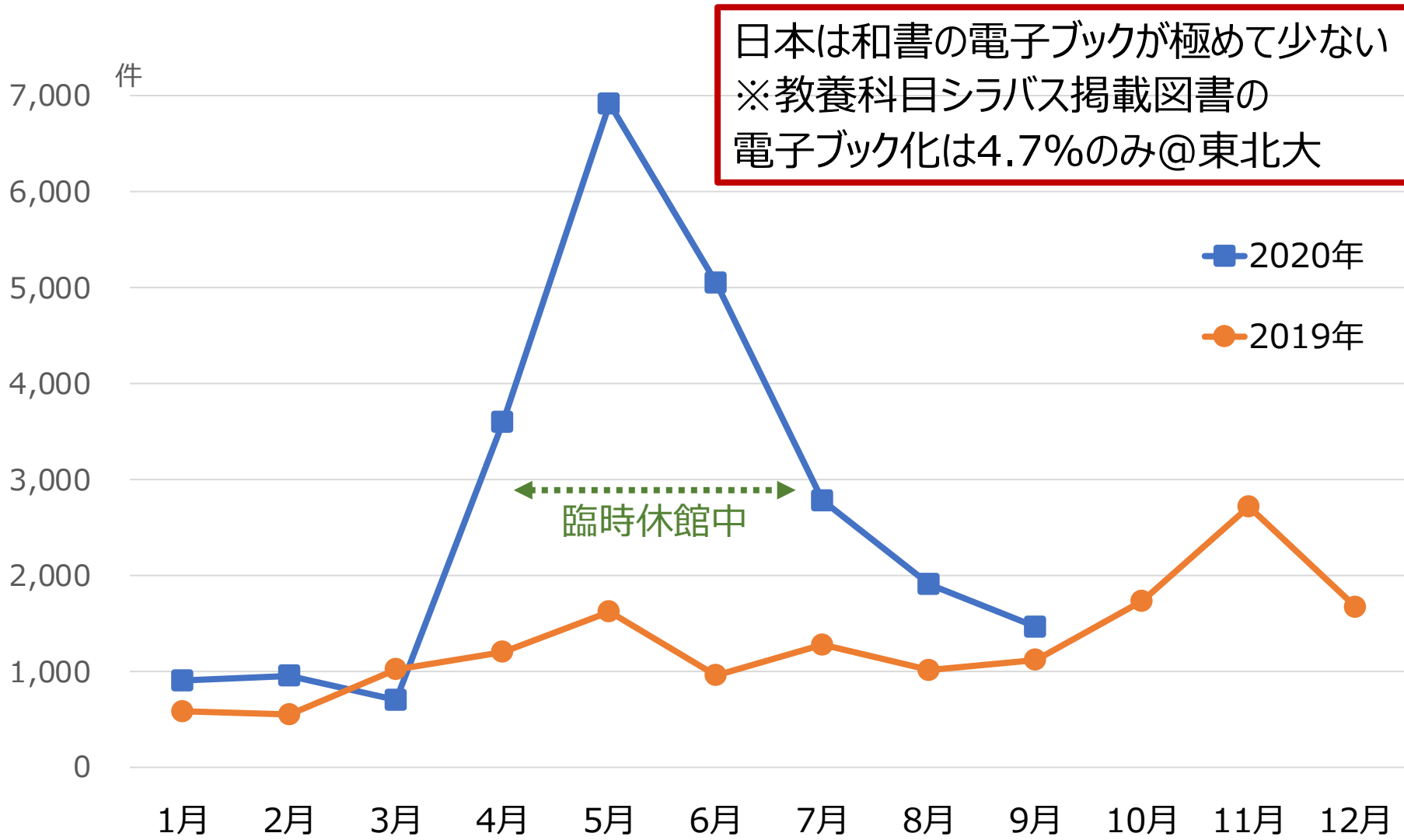
- Inspector Program at Science and Engineering Research Institutions and Universities
- Quota System for Recruitment of Female Scientist and Engineers
- Women-Friendly Institutional Innovation
- Policy Forums
- Policy Research
- Survey on the Utilization of Women in STEM

- 定点観察
- 継続性
- 可視化が重要





電子ブック利用推進（前年との利用件数比較）



※ Maruzen eBook Library（丸善雄松堂）と KinoDen（紀伊国屋書店）の合計